

「課題名：救急・集中治療領域におけるナルデメジンの使用状況と有効性・安全性の調査」について

○ 研究の意義・目的

当救急集中治療領域におけるナルデメジンの投与状況や有効性・安全性を調査することで、今後の排便コントロールに活かすことができ、患者の治療の有効性にも貢献できると思われる

○ 研究対象者

2017年1月1日から2024年12月31日までに、広島大学病院 集中治療病棟、高度救命救急センター、HCUにてナルデメジン投与を行った患者を対象とします。

○ 研究方法

本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は、患者基本情報（身長・体重など）、ナルデメジン投与状況、排便状況、副作用発現状況です。

（個人が特定出来る情報は転記しません）

○ 研究期間 委員会承認後～2026年12月31日

○ 試料・情報の管理責任者

広島大学病院 薬剤部 教授 松尾 裕彰

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

\* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....  
お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5579

広島大学病院 薬剤部 教授 松尾 裕彰（研究責任者）

薬剤師 吉川 博（担当者）